

国土強靱化と防災 街づくりテーマに

オリコンサル
社内講演会

オリエンタルコンサル
タンスは9日、東京都渋谷区の本社ビルで国土強靱（きょうじん）化と防災街づくりをテーマに社内講演会を開いた。写真。

防災技術で同社の顧客
アドバイザーを務める中



林一樹明治大特任教授を
講師に招き、2部構成で
「国土強靱化アクション
プランの概要と既存防災

事業との関係」や「防災街づくりと建設コンサルタンの役割」などについて話を聞いた。

同社は、防災・減災分野を重点事業の一つに位置付けている。東日本大震災の復興事業で得た知見を生かしながら、学識者や業界内外との協働・連携を深め、事業推進と社会貢献の両立を図る取り組みを強化していく考えだ。

【国土強靱化理解し防災事業に生かす オリコンサルが講演会】



国土強靱化理解し
防災事業に生かす

オリコンサルが講演会

オリエンタルコンサルタンツは9日、東京都渋谷区と同社関東支店で「国土強靱化と防災まちづくり」社会講演会を開いた。写真。国土強靱化

基本法の理解を深め、業務や研究開発などに生かすため、内閣府のナショナル・レジリエンス（防災・減災）懇談会で防災担当を務め、「防災技術」に関する同社の顧問アドバイザーである明大政治経済学研究科の中林一樹特任教授を講師に招き、2部構成で実施した。

第1部は「国土強靱化とは」と題し、国土強靱化地域計画の各地での策定状況や、国土強靱化アクションプランの概要と既往の防災事業とのかわりについて講演した。

第2部は「防災まちづくりとコンサルタンの役割」をテーマとして、国や地方自治体が今後、どのような方向で防災に取り組むべきか、またコンサルタントは其中でどのような知識や技術が必要なの

のかなど、中林特任教授がこれまでかかわった阪神・淡路大震災、東日本大震災、中越地震、トルコ北西部地震などの災害の経験と、最新の知見や取り組みを含めて講話した。